

子どもの 摂食機能の発達について



1

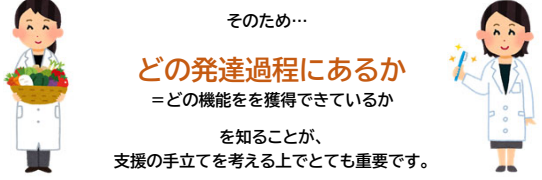
発達期の摂食嚥下障害の特徴

子どもの摂食嚥下障害の一番の特徴は、
食べる器官・機能が発達途中であること。

そのため…

どの発達過程にあるか
=どの機能を獲得できているか

を知ることが、
支援の手立てを考える上でとても重要です。



2

摂食機能の発達をみるポイント

口の機能の発達は体全体の発達とも深く関連しているため、
身体機能についても併せて確認することが大切です。

身体機能



口腔機能



歯の萌出



その他、**認知機能**や**食事への意欲**などを総合的にみて支援を行います。


3

摂食機能の発達段階

摂食機能の発達には、大きく分けて3つの段階があります。

- ① **ゴクン期** 唇で取り込み、のどに送る
- ② **モグモグ期** 舌で押しつぶす
- ③ **カミカミ期** 歯ぐきや歯で噛む

各発達段階の特徴、適切な食形態をご紹介します。



4

①ゴクン期(口唇食べ期) - 発達の目安 -

身体機能



- ・支えると座れる
- ・寝返りができる

口腔機能



- ・口唇を閉じて飲み込める
- ・舌の動きは前後のみ

歯の萌出



- ・生えていない

5

①ゴクン期(口唇食べ期) - 適切な食形態と介助時の注意点 -

食形態の目安: **ヨーグルト**

介助時の注意点:
食べ物を取り込んだら、下顎を軽く支えて、取り込みを助けます

トロトロ状から始め、舌の発達に合わせて水分を飛ばしながら、べたべた状にしていきます



6

②モグモグ期(舌食べ期)
— 発達の見目安 —

<p>身体機能</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・お座りが安定 ・ハイハイを始める 	<p>口腔機能</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・舌が上下に動く ・舌と上顎で押しつぶしができる 	<p>歯の萌出</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・上の前歯2本 ・下の前歯2本
--	---	--

7

②モグモグ期(舌食べ期)
— 適切な食形態と介助時の注意点 —

食形態の見目安: **豆腐**



舌でつぶせるくらいのやわらかさ

介助時の注意点:
下唇にスプーンを乗せ、上唇が下りてくるのを待ちます



※上唇や上顎にごすりつけないよう注意!

8

③カミカミ期(歯ぐき食べ期)
— 発達の見目安 —

<p>身体機能</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・つかまり立ちができる 	<p>口腔機能</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・舌が左右に動く ・下顎も上下左右に動き、すりつぶしができる 	<p>歯の萌出</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・上の前歯4本 ・下の前歯4本
---	---	--

9

③カミカミ期(歯ぐき食べ期)
— 適切な食形態と介助時の注意点 —

食形態の見目安: **バナナ**



歯ぐきでつぶせる固さ
指でつぶせるくらい

介助時の注意点:
介助者が手で持ち、前歯で噛み切らせる



10

摂食嚥下外来のご案内



噛まない
つめ込む
食べない

当センターの摂食嚥下機能療法では、今回ご紹介した発達期だけでなく、全てのライフステージの方を対象に、実際の食事場面を見てアドバイスを行っています。スプーンや箸を上手く使えない、むせるなど、食事に関してお悩みのある方。まずは一度ご相談されてみませんか？

11